

大東市立自転車駐車場 外部評価結果

評価対象施設	大東市立住道駅東第一自転車駐車場 大東市立住道駅東第二自転車駐車場
指定管理者名	ミディ総合管理株式会社
評価対象年度	令和2年度、令和3年度、令和4年度
施設所管課名	都市整備部 都市政策室 交通政策課

- 令和2年1月以降の新型コロナウイルス感染症の拡大による社会情勢の変化という特殊な状況下
における評価となる。
- 新型コロナウイルス感染症における市の対応として
 - ①令和2年4月・5月の緊急事態宣言時には、学生の定期利用者に対し、施設を使用しなかった
利用者への還付手続きを行い、その金額については、市に収める納入金の額から差引いています。
 - ②令和2年度はコロナ禍による外出控えにより利用料金が前年度比約8割に減収となっています。施
設運営にかかる経費と納入金を合わせて不足する金額については、1/2の額を納入金から差引きし
ました。令和3年度も令和2年度と比較すると利用料金は回復傾向にありますが、引き続きコロナ禍
による外出控えの影響により減収が続き、施設運営にかかる経費と納入金を合わせて不足する金額に
ついては、1/2の額を納入金から差引きました。

1. 指定管理者による自己評価結果に対する意見等

○施設運営の改善点等

- ・各施設とも利用状況に不足のない人員配置や指導員の配置を行っており、協定書・仕様書に基
づく施設運営を行っている。
- ・市が新型コロナウイルス感染症対策として実施した学生等の定期利用料金の払戻しについては、
問題なく還付手続きを行っていた。
- ・利用者のニーズに合わせた提案事業を実施し、利用者満足度の向上を図られたことが評価でき
る。（ネコの目サイトの導入、のぼりの設置、ダイトンをモチーフにした看板の設置など）
- ・事業計画書に記載がある提案事項で、未実施な事業があったが、提案した以上は原則指定期
間内に終わらせるべきである。未実施な事業がないよう体制の見直しを図りたい。
- ・アンケート調査結果を分析し、サービス向上を図った施設の管理・運営を行うなど、今後の施設の
運営に活かしていただきたい。

○収支状況等について

- ・新型コロナウイルス感染症などの影響により、全体的に利用料金が減少となったが、住道駅中央
自動車・自転車駐車場と連携しながら適正に管理運営を行っていた。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響も踏まえ、新しい生活スタイルに合わせた効率的な施設運営に
努められたい。

2. 市（施設所管課）による内部評価結果に対する意見等

○所管課の評価の仕方について

- ・未実施な自由提案については、指定管理期間中に指定管理者と実施等について調整すべきである。

○指定管理者に対して指導すべきポイント等

- ・適切に管理運営を行っているとはあるが、事業計画書に記載のある項目で実施していない事業がある。事業計画の進捗管理を行い、事業の定期的な確認を実施するべきである。

3. 総合評価

- ・協定書・仕様書に基づき、適切な管理運営を行っている。
- ・新型コロナウイルス対策については、各駐車場にて新型コロナウイルス感染防止対策を実施し、安全な施設運営に努めていることなどが評価できる。
- ・利用者のニーズに合わせた提案事項を実施し、利用者満足度の向上を図られたことが評価できる。